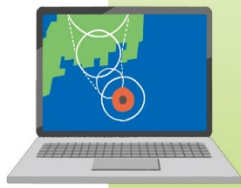


# 水害発生時の避難行動について

～避難勧告等が発令されたら速やかに避難行動をとってください～

洪水が来る前に安全な避難所に逃げるのが重要です。

## 時間の流れ



避難判断水位【**氾濫警戒情報**】

避難準備情報

氾濫危険水位【**氾濫危険情報**】

避難勧告

氾濫発生【**氾濫発生情報**】

避難指示(緊急)

## 住民のとりべき行動

### 情報収集等

- テレビ、ラジオ、インターネット等による気象警報等の確認
- ハザードマップ等による避難所・避難ルートの確認
- 非常持出し品の準備
- 家屋の被害を抑えるための自衛策の実施（家のまわりの排水溝の点検、風が吹きとばされそうな物の収容等）

様々な情報源から  
情報を集めましょう



### 避難の準備 高齢者等は避難を開始

- テレビ、インターネット、携帯メール等による大雨や河川の状況を確認

避難場所・経路を  
確認しましょう

### 避難の実施

足元に気を付けて  
落ち着いて避難しましょう

### 危険回避行動



※1 氾濫警戒情報などの各種情報は、国土交通省と気象庁が共同で発表する情報です。

※2 ※1の情報を目安に市町村長は、住民に対し避難に関する情報を発令します。

## 早め早めの避難を行うために

自然災害に対しては、自らの判断で避難行動をとることが原則です。

お住まいの市町村は、災害が発生する危険性が高まった場合に、起こりうる災害種別に対応した区域を示して避難勧告等が発令します。自宅や学校・職場等にはどのような危険があるのか、お住まいの市町村が指定している避難場所はどこなのか等について、あらかじめ確認・認識しておき、いざという時の避難行動について考えておきましょう。

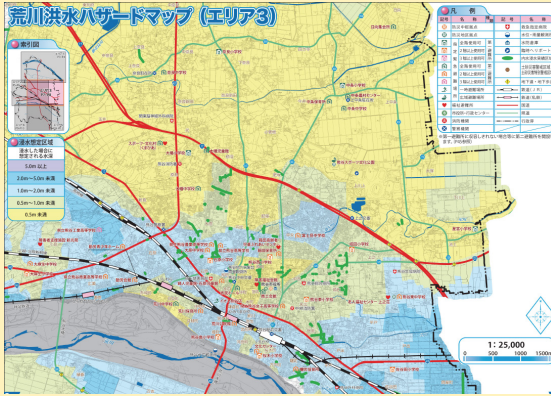
水害が発生した際は、浸水の度合いにより、水流等で避難行動ができない場合があります。避難場所への移動は、浸水する前に行うことが基本です。お住まいの市町村が発令する避難勧告が発令されたら、ためらわず避難することが水害の行動として重要です。避難指示は、避難勧告より事態が切迫していることを意味するので平常心を保ちながら、迅速に避難行動をとることが必要です。

## ▶ 河川情報や氾濫情報の入手方法

円滑・迅速な避難のためには、日頃から自分が住んでいる場所の水害リスク情報や避難場所を把握し、災害時には正確な情報を入手することが肝心です。

### ハザードマップ

市役所・区役所・町役場では、洪水が起きたときの水の深さや避難場所などが一目でわかる「洪水ハザードマップ」を見せてくれます。インターネットでも見ることができるので、自分の避難場所を確認しておくことが、命を守る事につながります。



浸水する範囲、水深、避難場所を示した「洪水ハザードマップ（熊谷市）」

### リアルタイム荒川情報

荒川やその支川の水位や雨量、ライブ映像などリアルタイムデータを見ることができます。最寄の地域を選べると、近くを流れる川の水位や、その水位が今どのような状態なのかを確認でき、自主的な避難行動に役立ちます。



リアルタイム画像を掲示した荒川上流河川事務所HP

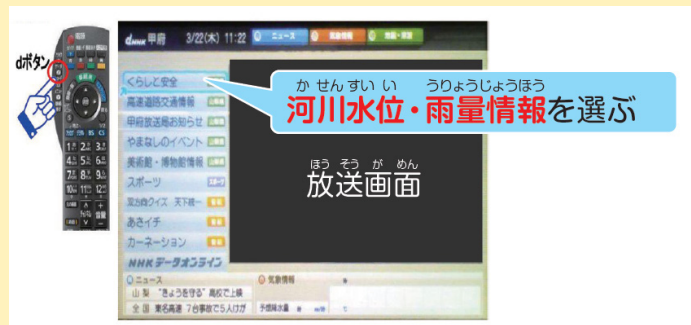
### 携帯電話やパソコンで水位や雨量などを確認

- ① PC版 <http://www.river.go.jp/>
- ② スマートフォン版 <http://www.river.go.jp/s/>
- ③ 携帯版 <http://i.river.go.jp/>



### テレビ（データ放送で確認）

TVのリモコンの「dボタン」を押して、メニューの「地域の防災・生活情報」をえらんだあと、「河川水位・雨量情報」を選択できます。



NHKデータ放送TOP画面

## コラム 洪水が来ても、自分の背より低い水の深さなら、逃げられる？

川がはん濫したときは、水の流れとともに物も流れてきて非常に危険です。水の深さが30～50cmになると移動が難しくなり、何かにつかまらなると移動できなくなります。

そのため、洪水が来る前に安全な避難所に逃げるのが大事になります。

